

教材教具名	トンネルくぐり	分類	教科
		授業名	体育（小学部）
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> ・四肢這いの姿勢で進むことができる。 ・環境に応じた身体の使い方をすることができる。 		

教材教具の概要（使用方法・工夫点など）



<使用方法>

- ・四肢這いの姿勢で進み、リトルマックを押す。

<工夫点>

- ・実態に応じてトンネルの長さを調整する。
- ・目的意識を持って活動できるように、リトルマックをトンネルの出口に置く。


<効果>

- ・児童が好きなリトルマックを課題が終わったら押せるようにしたことで、進んでトンネルに入る児童が増加した。

教材教員名	ハンドボール投げ説明 紙芝居	分類	教科
		授業名	体育（高等部）
ねらい	<p>・ハンドボール投げでどの体力要素を見るか、視覚で示す事で計測にいっそう意義を持たせ、自分の体力について知るきっかけにする。</p>		

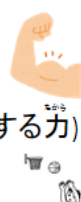
教材教具の概要（使用方法・工夫点など）

ハンドボール投げでは・・・




1

瞬発力(力強さ)と
巧緻性(運動を調整する力)
を計測します。



2


瞬発力(力強さ)とは？



重たい物を持ち上げたり、
するどいダッシュができる力
です。

3


巧緻性(運動を調整する力)とは？



体を器用に動かせる力のこと
です。


4

それぞれに
練習1投、本番2投して
本番の遠くに投げた方を
記録します。



5

みなさん
がんばってください！



6

<使用方法>

- ・ハンドボール投げ計測の前に説明する際に使用。

<材料>

- ・普通紙（プレゼンテーションソフトで作成）

<工夫点>

- ・生徒がイメージできるイラストや表現を使い、自分事に落とし込めるよう工夫した。

<効果>

- ・計測を行う前に使用する事で、瞬発力や巧緻性の意味を理解した様子で、ハンドボール投げでは、こんな事を見るのだと、関心を持って取り組む生徒もいた。

教材教具名	バッティング説明 紙芝居	分類	教科
		授業名	体育（高等部）
ねらい	・ティーボールのバッティングのポイントを整理して、視覚で提示する事でバッティングや試合に活かす。		

教材教具の概要（使用方法・工夫点など）

<p>バッティングのコツ</p> 	<p>大きく3つあります</p> 	<p>① ボールをよく見る！</p> 	<p>バットがボールに当たる瞬間まで見ましょう！</p> 
<p>② 立つ位置に注意！</p> 	<p>やや後ろ気味に立ってみよう！</p> 	<p>③ 思い切りバットを振ろう！</p> 	<p>3段階あります！</p> 
<p>まとめ！</p> <p>① ボールをよく見る！</p> <p>② 立つ位置に注意！</p> <p>③ 思い切りバットを振ろう！</p>	<p>ホームラン目指して 思い切ってやりましょう！</p> 		

＜使用方法＞

- ・ティーボールの単元開始時に使用。

<材料>

- ・普通紙（プレゼンテーションソフトで作成）

＜工夫点＞

- ・バッティングのポイントを図式化し、生徒がイメージできるよう工夫した。

＜効果＞

- ・提示→確認→実践を通して、繰り返し取り組む事で生徒自身がポイントを再確認するきっかけになった。

教材教員名	蛇腹折り補助版	分類	教科
		授業名	美術 折り染め（中学部）
ねらい	・蛇腹折りができるようにする。（まっすぐに折れ、手先の不器用さを補助する）		

教材教具の概要（使用方法・工夫点など）



<使用方法>

- ・厚紙の切れ目が交互になるように紙を挟む。
- ・下から 1 つ折り、ひっくり返し、1 つ折るを繰り返す。

<材料>

厚紙、カラーペン

<工夫点>

- ・ひっくり返してから折るのがわかりやすいように表と裏を赤と青で色分けした。

<効果>

- ・手先が不器用な生徒でも蛇腹折りができた。

教材教具名	レインスティック風	分類	教科
		授業名	音楽（中学部）
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> ・波の音を表現することができる ・曲の雰囲気を感じ、楽しく演奏することができる 		

教材教具の概要（使用方法・工夫点など）



<使用方法>

- ・レインスティックを左右に動かし、波を表現する
- ・鑑賞曲『南の島のハメハメハ大王』に合わせて、演奏する

<材料>

模造紙の芯、爪楊枝、米、折り紙、色画用紙、セロハンテープ

<工夫点>

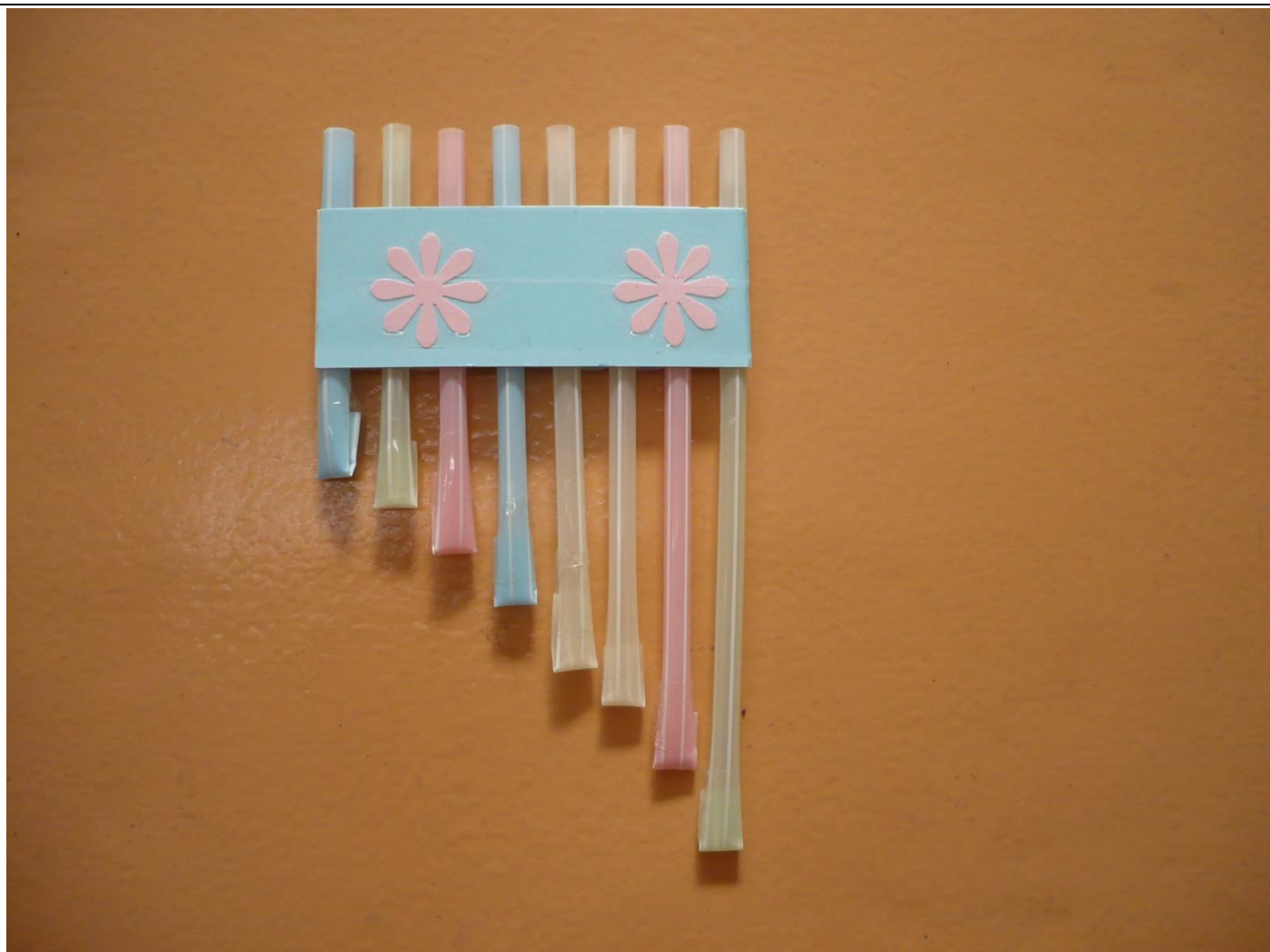
- ・レインスティックを3本用意し、1本、2本、3本と合わせて演奏した時の、音の違いが感じられるようにした（例：静かな波の音、荒々しい波の音など）
- ・キャラクターの折り紙や、テープで装飾し、見ても楽しめるようにした

<効果>

- ・各自レインスティックの動かし方を工夫しながら、波の音を表現することができた
- ・『南の島のハメハメハ大王』の曲に合わせて、楽しみながら演奏することができた

教材教員名	ストローパンフルート (ストロー笛)	分類	教科
		授業名	音楽 (中学部)
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> ・音色の面白さを味わうことができる ・曲の雰囲気を感じることができる 		

教材教具の概要 (使用方法・工夫点など)



<使用方法>

ストローに唇を当て、息を吹く
『口笛吹きと犬』の曲に合わせて吹く

<材料>

ストロー、セロハンテープ、板目紙、色画用紙

<工夫点>

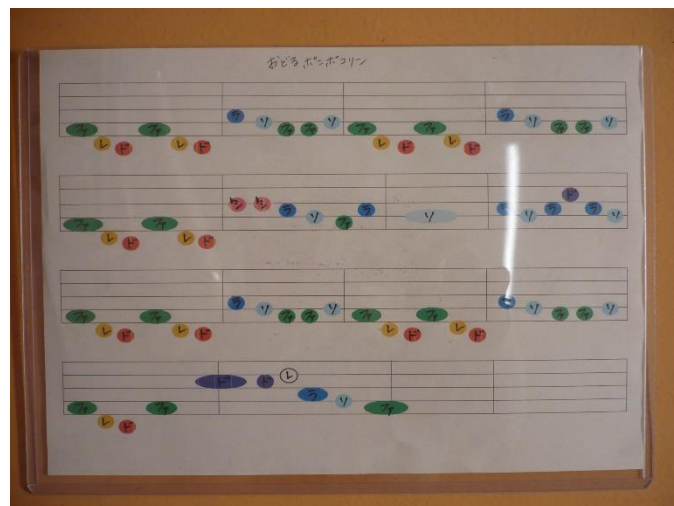
音の違いがわかるように 1 オクターブにした。
見ても楽しめるように、板目紙に装飾したり、ストローの色を混合した。

<効果>

最初は音を出すのが難しかったが、繰り返し取り組むことで吹き方のコツを掴み、各自色々な音色を出して楽しむことができた。

教材教具名	色楽譜	分類	教科
		授業名	音楽（中学部）
ねらい	・色楽譜を見て鍵盤楽器（キーボードや木琴など）を演奏することができる。		

教材教具の概要（使用方法・工夫点など）



<使用方法>

- ・色楽譜を見ながら、音符の色と同じ色のシールが貼ってある鍵盤を押して弾く。

<材料>

- ・色楽譜 ・色シール

<工夫点>

- ・色楽譜を作るときに、拍数が長い音符は形を変えて、リズムを意識できるように工夫した。

<効果>

- ・楽譜が読めない生徒でも、色を頼りに弾くことができる。
- ・色楽譜に音名を記入したことで、音名や鍵盤の位置などが覚えられるようになってきた。

教材教員名	パネルシアター (たなばた)	分類	教科
		授業名	音楽（中学部）
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> ・ パネルを鑑賞して楽しむことができる ・ 日本の季節行事を味わうことができる 		

教材教具の概要（使用方法・工夫点など）



<使用方法>

パネルシアターを鑑賞する。

<材料>

たなばたのパネル

<工夫点>

願い事を書いた短冊を見せて、生活単元で学習したことを思い出させるようにした。

<効果>

興味を持って、パネルシアターを見ることができた。

教材教員名	ポリバケツの太鼓 オーシャンドラム	分類	教科
		授業名	音楽・美術（中学部）
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> ・身近なもので作った楽器で演奏をする ・自分で作った楽器を演奏して楽しむ 		

教材教具の概要（使用方法・工夫点など）



<使用方法>

「風になりたい」のパートを、自分が作った太鼓、オーシャンドラムで演奏する。

<材料>

- ・【太鼓】ポリバケツ、ガムテープ
- ・【オーシャンドラム】ポリバケツ、厚めの透明フィルム、大きめのビーズのようなもの

※模様はアクリル絵の具で

<工夫点>

- ・生徒の実態によって、手で叩くことができる生徒は太鼓を作り、両手で持って持ち上げたり
- ・傾けたりができる生徒はオーシャンドラムを作って、演奏した。
- ・太鼓のガムテープは、サルサガムテープの貼り方を参考にした。
- ・オーシャンドラムを平たい形でなく、バケツ型にした。

<効果>

- ・自分の太鼓を嬉しそうに持ってきて、叩いて演奏していた。
- ・バケツ型のオーシャンドラムの横を両手で持ち、天井に向け持ち上げて鳴らすなどしていた。

教材教員名	色シール付ギター	分類	教科
		授業名	音楽（分教室）
ねらい	コード譜だけで、すぐにギターのポジションがわかる。		

教材教具の概要（使用方法・工夫点など）



<使用方法>

コード譜を見ながら色のついたコードのところでギターの同じ色のポジションを押さえて弾く。

<材料>

ギター、ギターのコード譜、シール、マジック

<工夫点>

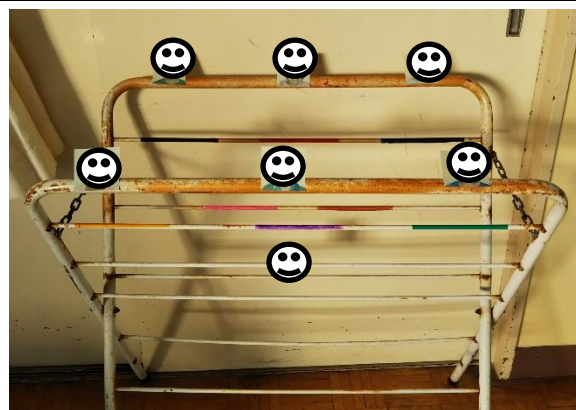
音階で使われる音を色分けをし、どの楽器でもその色のところを弾くと、音楽に合ったがでるようにしたこと。

<効果>

繰り返し練習をすることで、音楽が苦手な生徒やリズムが取りにくい生徒も演奏できる気分になること。

教材教具名	雑巾かけ	分類	教科
		授業名	日常生活（中学部）
ねらい	自分で雑巾を片付けることができる		

教材教具の概要（使用方法・工夫点など）



<使用方法>

自分の決められた場所に、雑巾をかける

<材料>

カラーのビニールテープ、油性マジック、生徒の顔写真

<工夫点>

雑巾をかける場所にカラーのテープを貼り、同じ色のマジックで雑巾にナンバリングをした。
また、上に顔写真を貼った。色々なヒントを作り、雑巾をかける時に分かりやすいようにした。

<効果>

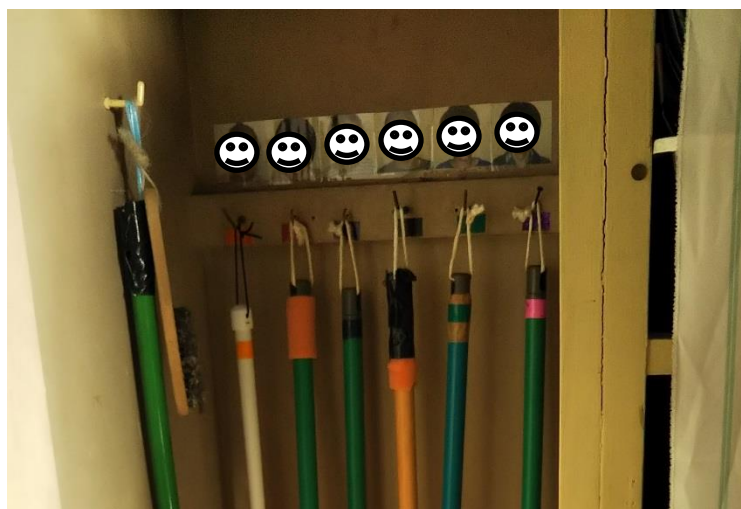
雑巾がけのあと、ぐちゃぐちゃにかけていたが、自分の場所に自分でかけられるようになった。

教材教具名	机ストッパー	分類	教科
		授業名	日常生活（中学部）
ねらい	机を、印にあわせて整えることができる		
教材教具の概要（使用方法・工夫点など）			
<div></div>			
<div><div>＜使用方法＞</div><div>机を整えるとき、枠の中で止める</div><div>＜材料＞</div><div>ガムテープ、ビニールテープ、透明テープ</div><div>＜工夫点＞</div><div>印を見ただけでは机を整えられない生徒のために、立体的にしてそこで止まるようにした。</div><div>＜効果＞</div><div>見るだけでは整えられないが、引っ掛かりがあることによって、机をそこに置けるようになってきた。</div></div>			

教材教具名	モップを持てない生徒の補助具	分類	教科
		授業名	日常生活（中学部）
ねらい	<ul style="list-style-type: none">・モップの柄を持つことが難しい生徒が持って進むことができる。・モップの柄を自分の胸に当てて、ブレずに拭くことができる。		
教材教具の概要（使用方法・工夫点など）			
<div></div>			
<p><使用方法></p> <ul style="list-style-type: none">・水平方向の棒を両手で持ち、モップの柄のテニスボールを胸に当て、モップの柄がぶれないようにする。それでも柄がぶれるときは、ひもを背中で結ぶ。 <p><材料></p> <ul style="list-style-type: none">・木材、ボルト、ナット、テニスボール、ひも <p><工夫点></p> <ul style="list-style-type: none">・生徒の身長によって、水平方向の棒の高さを調節することができる。・モップの柄が胸に当たって痛くなく、ブレないようにテニスボールを使った。・必要によって、背中でひもを結べるようにした。			
<p><効果></p> <ul style="list-style-type: none">・この補助具を使うことで、一人でモップを押して進むことができるようになった。			

教材教員名	掃除ロッカー	分類	教科
		授業名	日常生活（中学部）
ねらい	ほうきを、決められた場所にかけることができる		

教材教具の概要（使用方法・工夫点など）



<使用方法>

自分の決められた場所に、ほうきをかける

<材料>

カラーのビニールテープ、生徒の顔写真

<工夫点>

ほうきをかける場所にカラーのテープを貼り、同じ色のテープをかける場所の下に貼った。また、上に顔写真を貼った。色々なヒントを作り、ほうきをかける時に分かりやすいようにした。

<効果>

ほうきを取ったりしまったりするのがスムーズになった。また、個人に合わせて、持ち手等を工夫したほうきを、教員に配付されるのではなく、自分で取って使用できるようになった。

教材教員名	調理・手順カード	分類	教科
		授業名	家庭科・食物（高等部）
ねらい	食物・調理実習時、なるべく一人で調理ができるようにする。		

教材教具の概要（使用方法・工夫点など）



<使用方法>

調理実習時に見る。

<材料>

紙、ラミネートシート

<工夫点>

写真をメインにして、言葉はなるべく少なく、一つ一つの手順を追った方が良い生徒は、めくりカード、全体を一覧で見た方が良い生徒には、一覧のカードを使用している。

<効果>

生徒が自分でカードを見て、手順を追いながら調理を進められた。

教材教員名	メモ帳作り 製本テープ貼り 枠	分類	教科
		授業名	作業・紙工班（高等部）
ねらい	どの生徒が行っても、ホチキスの針がかくれる位置へ製本テープが貼れるようにする。		

教材教具の概要（使用方法・工夫点など）



<使用方法>

①製本テープを置く ②メモ帳を置く ③下半分の製本テープを作る ④上半分を貼る

<材料>

カッターマット、ステレンボード

<工夫点>

100 円ショップで揃う材料で作った。

<効果>

時々、ホチキス針が見えてしまう製品が出るが、ほぼ位置決めに成功している。

教材教員名	メモ帳作り ホチキス留め 枠	分類	教科
		授業名	作業・紙工班（高等部）
ねらい	どの生徒が行っても、ホチキスの針がかくれる位置へ製本テープが貼れるようにする。		

教材教具の概要（使用方法・工夫点など）



<使用方法>

①メモ帳を奥まで入れる ②左に寄せて右側のホチキス留め ③右に寄せて左側のホチキス留め

<材料>

ダンボール

<工夫点>

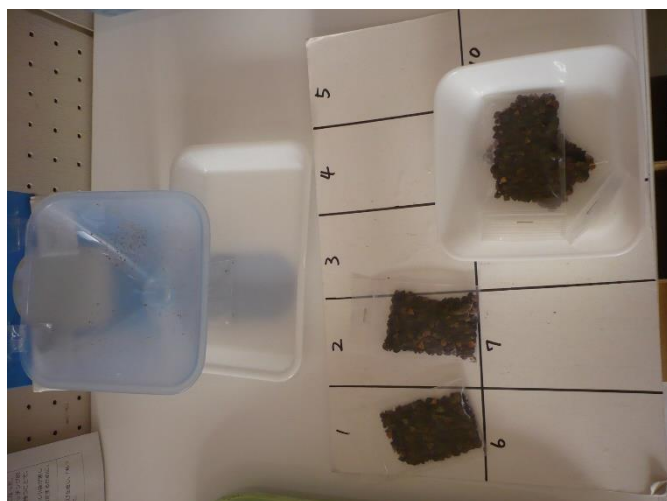
加工が楽なダンボールで作った。ホチキスはすぐに外せる

<効果>

ねらい通りにできていた。

教材教員名	そばだね袋詰め	分類	教科
		授業名	現場実習（高等部）
ねらい	一人で「そばだね袋詰め」作業ができる		

教材教具の概要（使用方法・工夫点など）



<使用方法>

- ① スプーンでそばだねをすくう（→もう一つのスプーンの上に乗せる）
- ② 割りばしで擦切りをする
- ③ スケールの上の紙コップにそばだねを入れる
- ④ じょうごの下にビニール小袋を差し込む
- ⑤ じょうごに紙コップのそばだねを入れる
- ⑥ 種の入ったビニール小袋の封をし、並べる

<材料>

ボール、割りばし2計量スプーン（大）2、ビニールテープ、紙粘土、紙コップ、スケール、ブックスタンド、じょうご、セロテープ、トレー（大、小）、ビニール小袋を数える台紙

<工夫点>

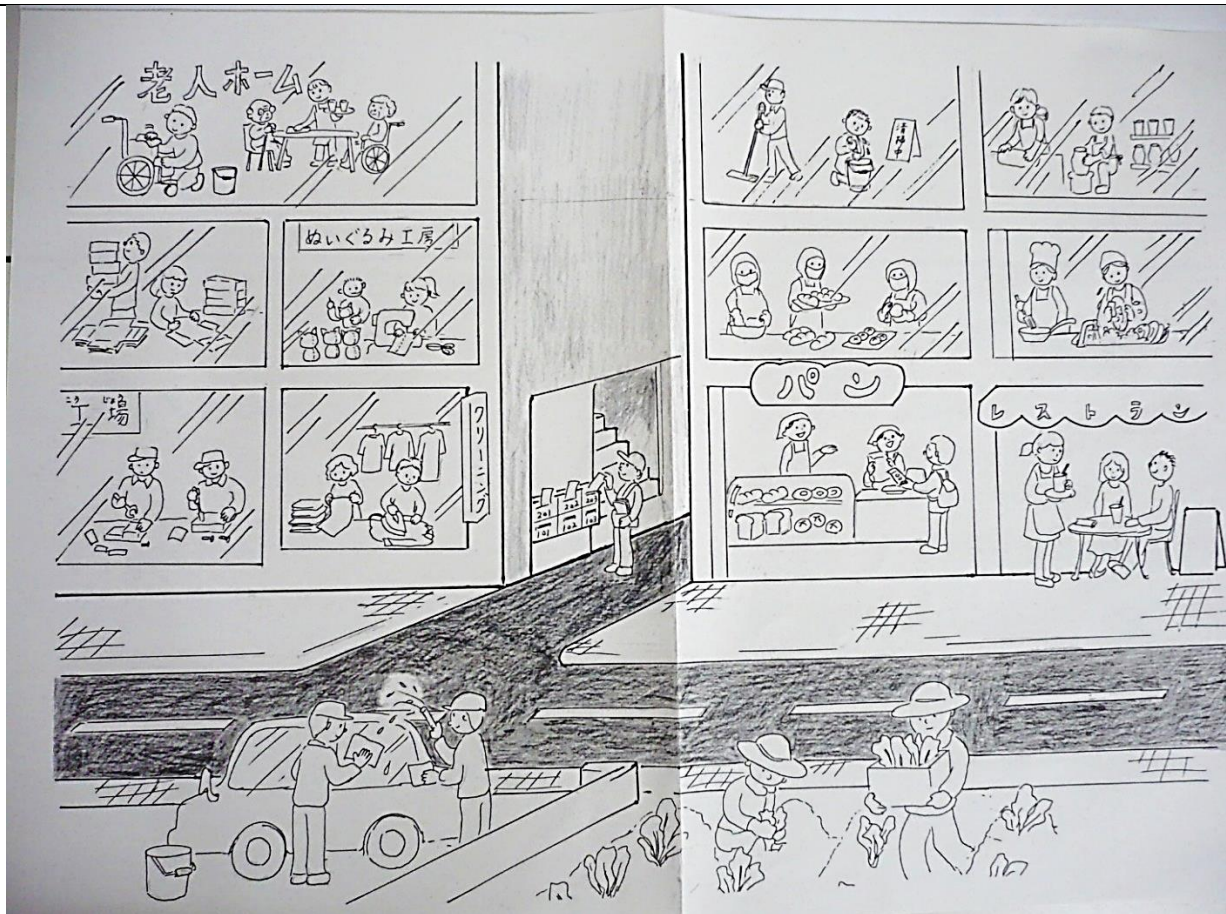
- ① そばだねをすくう際、既定の8 gにならず、計量スプーンの淵を削ろうと考えたが、周りの先生に相談することで、紙粘土で底上げするアイデアをいただき、8 gぴったりに調整することができた。「削る」手間より、「盛る」手間の方が少なく、やり直しがきくため短い時間で失敗なく調整できた。一人のアイデアではなかなか先に進めなかったが、そういう時は周りの先生に聞いてみるのがとても有効であると感じた。
- ② 擦切りをする際、片手でスプーンを持ち、片手で割りばしを使う事が難しい生徒であったため、計量スプーンを固定する方がいいとの結論に至った。どこに固定するか、いろいろ案が出たが、最終的にそばだねをこぼしても元に戻るボールの上に固定する事になった。固定する際に、もう一つ同じ計量スプーンが必要になったが、すくった後のマッチング的な感じで自然にスプーンの上に重ねることができた。両手で割りばしの両端を持つことで、より正確な擦切りもできるようになった。
- ③ じょうごにビニール小袋を差し込む際、じょうごが固定されているとビニール小袋が差し込みにくかったため、じょうごを可動式にした。じょうごを可動しながら固定するために、たまたま思いついたブックスタンドが有効だった。

<効果>

工程が多い作業になるが、生徒本人は自分自身で作業を完結できることに喜びを感じ、「私って天才かも～」と言いながら自信をつけて現場実習に取り組むことができた。

教材教員名	自分の進路	分類	教科
		授業名	生活総合（高等部）
ねらい	実習で経験したり、校外学習で見学したり、卒業後に取り組みそうな仕事を絵で確認し、どんな仕事があって、自分はどんなことがしたいかを考える。		

教材教具の概要（使用方法・工夫点など）



<使用方法>

ぬり絵をする→各自がぬったプリントをドキュメントカメラで紹介しながら、仕事の名前を確認していく→書き込むプリントで確認する→どんな仕事がしたいか発表する

<材料>

テキスト「私たちの進路」の仕事がたくさん載った絵のページを参考に、対象グループの生徒に身近な職種で描いた。

<工夫点>

社会に出て、町の中で働く人の一員になる。というイメージを持ってもらうように、町の絵にした。（カッコいい働く人たち、楽しそうに働く人たちのイメージを大切に話した。）

<効果>

ぬり絵をととても熱心に行っていた。ねらい達成に近づけることができた。素人絵のため、立体感が出せなかった…